



いつでも どこでも だれにでも  
**大きな声で** 自分から

いのち 生命を大切に、進んで学ぶ、心身共にたくましい子どもの育成  
～ やさしいいっぱい かしこさいいっぱい たくまさいいっぱい ～



階段掲示板より (4年生作文)



今年は例年と違う形の「いのりの日集会」となります。4年生の発表は代表児童による『いのりの日に寄せる思い』の作文発表です。また、今年度も外部講師として永石一成先生をお招きしての講話を計画しています。残念ながら校内放送での集会になりますが、災害体験を継承し、「生命・きずな・感謝の心」をいつまでも大切に作る五小っ子を育てていきます。

「いのりの日集会」で発表する代表児童の作文を紹介します。  
あとの2名は集会後に紹介します。

### いのりの日に寄せる思い

4年2組 上田 一晴

お父さんの友だちの家族が、火砕流で亡くなっているそうです。ぼくはとてもひどいと思いました。家も埋まったりしたそうです。こんなひどいことが起きないように、すぐ避難ができるように、日頃からニュースや放送を見たり聞いたりして、準備をしておくことがとても大切だと分かりました。

### いのりの日に寄せる思い

4年1組 小嶋 希和

わたしは3年生で噴火のことを勉強しました。噴火の怖さや人々の生活が苦しくなることが分かりました。3年生の時に「定点」に行きました。お姉ちゃん達が詳しく噴火のことを教えてくれました。砂防未来館や焼け焦げた旧大野木場小学校に行きました。キャンドルもつくり、火をともしました。大勢の人が命を奪われてしまい、とてもかわいそうだなと思いました。もう二度と普賢岳は噴火しないように願っていきたいと思います。

## 五小、五つの教え

- 生命を大切に
- 親を大切に
- 感謝の心を大切に
- 自分を大切に
- まじめに



大下のコンビニから新あゆ川橋へ向かう、国道57号線の歩道です。草が生い茂っていて歩行しずらかったのですが、毎朝立哨指導でもお世話になっている町内会連絡協議会長の阿南さんに相談したところ、市役所道路課から国土交通省小浜道路維持出張所へ連絡をしていただき、ご覧のように草をはらっていただきました。早急な対応に感謝しています。ほんとうにありがとうございました。